

平成30年第9回

幸手市教育委員会定例会会議録

招 集 期 日	平成30年9月18日(火) 午前9時30分					
開 会 場 所	幸手市立権現堂川小学校 会議室					
開会の日時・宣告者	平成30年9月18日(火) 午前9時30分			山西 実		
閉会の日時・宣告者	平成30年9月18日(火) 午後0時04分			山西 実		
出席 状況	職 名	氏 名	摘 要	職 名	氏 名	摘 要
	教 育 長	山 西 実	出席	教育委員	前 田 一 郎	出席
	職務代理者	中 根 政 美	出席	教育委員	満 木 信 吉	出席
	教育委員	尾 島 紗 緒 里	欠 席	教育委員	齊 藤 一 夫	出席
傍聴人：0人			書記：大竹 孝典・河口 奈緒			
議 事 参 与 者	職 名	氏 名	職 名	氏 名		
	教 育 部 長	小 森 谷 進				
	総 務 課 長	長 田 広				
	指 導 課 長	堀 越 成 夫				
	社会教育課長	尾 崎 武				

会議事件名	顛末
<p>開 会 午前9時30分</p> <p>日程第1 権現堂川小学校の運営状況等について</p>	<p>教育長 開会を宣する。</p> <p>権現堂川小学校長 権現堂川小学校の運営状況等について、資料により説明する。</p> <p>《質疑》</p> <p>満木委員 学力学習状況調査の結果報告で、一部特別な要因があるとの話があったが、この分を計算から抜くとどのような結果となるか。</p> <p>権現堂川小学校長 市の平均程度になる。</p> <p>満木委員 埼玉県の実力学習状況調査については、大変素晴らしい結果だったと思う。この結果は、教育長をはじめ、先生方の取組やプロセスが正しかったことによる成果だと思う。川島校長が作成された運営状況等の説明資料は、日頃から私が教育委員会で言いたいと思っている全てが書かれていて、一言も付け加える点が無いほど素晴らしい。感謝する。</p> <p>権現堂川小学校長 教職員は、学校教育の現場で、全ての子どもの可能性を信じて、皆が共に歩みながら力を発揮し、成長できるよう努めている。その結果、平均点が上がると信じている。今後も子ども達に夢を語り、希望を語り、事実として子ども達が結果を出せるよう努力していく。</p> <p>前田委員 質問と感想を各1点。質問は、本校の経営理念の中に「子どもの学びを保障する」という言葉があるが、「保障」という言葉をもう少しご説明いただきたい。 感想は、学力テストの結果を児童一人ひとりにまで視点を当てて、詳細に分析していることに感心した。</p> <p>権現堂川小学校長 児童全員が、カリキュラムの全てを理解できたかを把握す</p>

	<p>ることは難しいので、「保証」はできないが、全ての児童が授業に参加し、一人ひとりが自分なりに学べる場所や機会を作ることを「保障」することはできる。そういう意味での違いだと私は考えている。</p> <p>齊藤委員</p> <p>権現堂川小学校の地区は、祖父母と一緒に生活している児童が多いとの話があったが、後姿を見ながら様々なことを学べるので、やはり良い地域だと感じた。</p> <p>また、地域の方々との交流の話もあったが、特に権現堂地区の方々の、地域に対する取組は素晴らしいと以前から思っていた。</p> <p>別件だが、権現堂川小学校傍の信号の角に産廃のようなものが置かれており、通るたびに増えていて気になっている。</p> <p>教育部長</p> <p>齊藤委員からご指摘いただいたところについては、権現堂川小学校から教育委員会に情報提供いただいております、すでに教育委員会から環境課に連絡をとって、現地の確認等をお願いしている。状況によっては市の環境課と県で連携をとって対応していくかと思う。</p> <p>中根職務代理者</p> <p>権現堂川小学校は、小規模校の課題と良さがあると思うが、それを良さに転換して様々な教育活動を進めていることに敬意を表す。特に体験活動と地域との連携は、子ども達にとって誇りにも繋がると思うので、これからも進めたい。</p>
<p>日程第 2 前回会議録の承認</p>	<p>教育長</p> <p>平成 30 年第 8 回教育委員会定例会の会議録の内容について質問を求める。</p> <p>《質疑》 質疑なし。</p> <p>《承認》 全員異議なく承認。</p>
<p>日程第 3 協議事項(学校における働き方改革について)</p>	<p>指導課長</p> <p>学校における働き方改革について、資料等に基づき説明する。</p>

て)

《質疑》

満木委員

資料に基づく説明の中で、学校の多忙な状況と要因として、諸外国の教員の業務が主に授業に特化されているのに対し、日本では教科指導、生徒指導、部活動指導等と多岐にわたるとあったが、このような状況を改善するには、くどいようだが校務支援ソフトを導入することでかなりの軽減が図れると思っている。教科指導についてはもちろん生徒指導についても、全ての教員が児童・生徒の情報をシステムで共有することで、新人の教員を含め、多くの教員からアドバイスを得られる環境での生徒指導の実現が可能だと思う。また、教科指導は、毎回の成績さえしっかり入力しておけば、偏差値や学校の平均点、順位全てが、一瞬で計算できるようになり、業務の軽減化が図れると思う。

部活動指導に関しては先程、指導課長からも説明があったが、部活は学校で行うものなので教員のコントロールは必要だが、各スポーツの分野で専門性を持った方の協力を得て推進していくことで、部活動の軽減化が図れると思うので、コミュニティスクールといった大きな枠組みではなく、まさに齊藤委員のような専門家に協力を仰ぐ形での軽減を図っていただきたいと思う。

齊藤委員

東中学校では、部員が減って野球部が廃部となり、その生徒が違う部活に入って活動しているという話を聞いた。野球が好きでも、お金や家庭の事情などで続けられないのは残念だと思うし、人数が減って試合に出場できないから部活をやめてしまうのは、本来の姿ではないと思う。外部の指導者が見つければ部活をつぶさないで野球を続けられると思う。

教育長

幅広い意味での役割分担や教育の場の構想を持たないと難しい。

齊藤委員

サッカースポーツ少年団もあるが、サッカーが上手な子どもは少年団を抜けてクラブに行ってしまう。また、子どもだけでなくクラブに移籍を望む親もいる。

満木委員

個々の教職員の意識改革も必要だが、教育長をはじめ校長が、これでは将来いい教員が集まらないという意識を持って、トップダウンの方向性で進めていく必要があることだと思う。教職員が、自分の子どもの運動会を見に行っていると思うし、家族で夕食を一緒に摂る教員がいていいはずだと思う。全て投げ打たなければ、小・中学校の教員になれないということであれば、人材が集まらないというような未来が待っていると思うので、今はとても大事な時期だと思う。

中根職務代理者

この協議事項に係る資料だが、教育委員会の学校への働きかけや、部活動の有り方について、大変よくまとめられている。時間がかかるかもしれないが、この方針が定着するように校長会とも連携しながら取り組んでいただきたい。

前田委員

教職員の負担を軽減する方法としては、ICTの導入、教育長や校長のリーダーシップ、それと部活動の改善、大きく分けてこの3点だと思う。

満木委員からお話があったICTの導入のようにお金の面で解決することもある。また、リーダーシップの面は、これからの取組だと思う。最後の部活動だが、たぶん保護者や生徒が部活動に望むことは、様々だと思う。4～50年前、向上心のある子どもや親は、成績を良くしようと思って塾に行っていたが、それと同じことが今、部活動にも起こりつつあるのではないか。例えば野球なら甲子園、サッカーならJリーグを目指す子ども達は、たぶん学校の部活ではなく、それなりのチームに行っている。今は先進的なことかもしれないが、年月が経てばそれが普通になる。正直答えは分からないが、幸手市として今後、勉強と部活動を同じ捉え方として考えたほうがいいと思う。ただし、間違いなく部活動に教員がかかわるのは負担である。

文部科学省が外部指導者の導入予算を組んだが、10億円しかなく、一人年間100万円の予算で働く人がいるのか疑問に感じた。それでも、間違いなく外部指導者を入れて部活動を運営していかざるを得ないのではないかと思う。その中で、子どもや親がどう考えるか、そんな風に部活動は変わっていくのではないかと思う。

教育長

県では、働き方改革の取組を加速させる為に3つの視点を示している。教職員の意識改革と、幅広い業務改善、地域との協働体制の構築をあげている。仕事の業務量が減らないのであれば人員を増やす、あるいは制度を変えなければならない。

幸手市では、国と県が補助するスクール・サポート・スタッフ事業に取り組む。

働き方改革には、教員の意識改革も必要だが、社会の意識改革も必要である。過去にサラリーマン教師という批判があり、教員が非常に苦勞した時代があったが、本来学校がやるべきことと、そうでないものの線引きを社会の理解を得ながら進めていかないと難しいと思う。

前田委員

教育長のおっしゃるとおり、家庭でやること、学校でやることの線引きは必要だと思う。しかし、そうすると今後、親が学校に望むことは学力の向上だけで、どれだけ教科指導に責任を持って成績を伸ばせるかが重要になってきてしまう。そうすると、サラリーマン教師でもいいから、その代わりに学力を本当に伸ばしてくれるのかという親のニーズが高まってくるのではないか。

教育長

幅広い教育問題がある中で、子どもに知・徳・体を付けるのにどれだけ教員が関われるかという点が、これからの教員に望まれるところである。教育界では、業務を軽減することで生まれる子どもに向き合う時間や授業の準備時間の使い方に対する議論があまりされていない。そこを議論しないと、本来の日本の教育の根幹が失われてしまう。

中根職務代理者

日本の教育のいい所は、学校現場で学力と同時に人間性を養う部分だと思う。しつけには、家庭でしつける部分と学校の集団生活の中で身に付けていく人間性といったものがある。そういった良さを残しながら教職員の負担を減らし、特に子ども達と触れ合う時間をどう確保していくかを検討しながら進めていかなければならない。教育委員会の方針は重要だと思うので、ご期待申し上げたい。

指導課長

教職員の働き方改革に係る方針は、昨年からまとめ始め、少しずつ改訂しながら進めている。県の教育委員会でも業

<p>日程第 4 議 事 議案第 22 号 文化財保護審議会規則 の一部を改正する規則</p>	<p>務改善については、年に 4～5 回、事務局職員と学校の代表を集めた協議会を開催しているが、それらの情報をもとに学校に適宜還元しながら取組を進めていきたい。</p> <p>社会教育課長 議案書により説明する。 《質疑》 なし。 《採決》 全員異議なく原案どおり議決。</p>
<p>議案第 23 号 幸手市文化財保護審議会委員の委嘱について</p>	<p>社会教育課長 議案書により説明する。 《質疑》 前田委員 退任の条件を伺う。</p> <p>社会教育課長 市の規程で、再任する場合、75 歳未満との基準を設けており、また本人にも確認したところ、長年やってきたので、今回は新しい方ということになった。</p> <p>前田委員 全体的な話だが、審議会などの委員は 75 歳未満が望ましいという規程は、どの会でもあるのか。</p> <p>社会教育課長 「幸手市附属機関等の管理及び運営に関する要綱」があり、努力目標ではあるが、これを基準として選考している。</p> <p>前田委員 幸手市の委嘱委員に、75 歳以上の委員はたぶんいないという捉え方で良いか。</p> <p>総務課長 充て職や、特別な知識を持つ方など、その方がいないと会が成り立たないといった特別な理由があれば、年齢基準を上回る方に委嘱をお願いしているところもある。ただし、広く市民の意見を反映し、専門的な知識を有する者などから、答申、提言等を求めるというのが前提なので、年齢や男女比率などの基準に基づいて選考している。 《採決》 全員異議なく原案どおり議決。</p>

<p>議案第 24 号 幸手市公民館運営審議会委員の委嘱について</p>	<p>社会教育課長 議案書により説明する。 《質疑》 なし。 《採決》 全員異議なく原案どおり議決。</p>
<p>専決報告第 23 号 幸手市教育委員会教育長の専決処理に対する報告について</p>	<p>総務課長 議案書により説明する。 《質疑》 質疑無し</p>
<p>専決報告第 24 号 幸手市教育委員会教育長の専決処理に対する報告について</p>	<p>総務課長 議案書により説明する。 《質疑》 質疑無し</p>
<p>専決報告第 25 号 幸手市教育委員会教育長の専決処理に対する報告について</p>	<p>総務課長 議案書により説明する。 《質疑》 質疑無し</p>
<p>専決報告第 26 号 幸手市教育委員会教育長の専決処理に対する報告について</p>	<p>指導課長 議案書により説明する。 《質疑》 質疑無し</p>
<p>専決報告第 27 号 幸手市教育委員会教育長の専決処理に対する報告について</p>	<p>指導課長 議案書により説明する。 《質疑》 中根職務代理者 他の学校に欠員はないか。 指導課長</p>

<p>専決報告第 28 号 幸手市教育委員会教育 長の専決処理に対する 報告について</p>	<p>10月の終わりから幸手小学校で産休に入る教員がいる。この教員が、医者から産休前から静養するよう診断されており、先日、病気休暇の届出があったばかりである。しかし、そちらについても代理の目処が立っている。</p> <p>総務課長 議案書により説明する。 ≪質疑≫質疑無し</p>
<p>日程第 5 行政報告 1 教育長報告</p>	<p>教育長</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 各種教育長会議等 2 平成 30 年第 3 回幸手市議会定例会一般質問 (教委担当部分) 3 講演等 <p>について資料により説明する。</p>
<p>2 事務局からの 主要な報告</p>	<p>教育次長 平成 30 年第 3 回幸手市議会定例会一般質問 (教委担当部分) の要旨</p> <p>総務課長 平成 31 年度市内小学校就学予定者健康診断実施予定</p> <p>指導課長</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 全日本中学校卓球大会 2 9月下旬から10月上旬お主な行事 3 小学校修学旅行実施予定日 <p>指導課長 (吉田幼稚園)</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 8月の行事・研修 2 9月の行事・研修予定 <p>社会教育課長</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 幸手市がベナン共和国のホストタウンに登録 2 文連作品展 (主催 幸手市文化団体連合会) 3 第 27 回埼葛人権を考えるつどい (人権啓発推進埼葛実行委員会) 4 幸手市郷土資料館開設記念式典

	<p>5 平成 30 年度幸手すこやか子育て講座</p> <p>社会教育課長（公民館）</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 ピラティス講座 2 職場体験学習に関する生徒受け入れ（幸手中学校） 3 クラフトバンド手芸講座（後期） 4 初心者詩吟講座 5 秋の自然観察会 6 フロアカーリング講座 7 メディカルアロマ講座 8 初心者ヨガ講座 9 西公民館いきいき大学 10 健康体操講座 11 健康改善ストレッチ体操 12 修繕工事 13 8月の利用状況 <p>社会教育課長（図書館）</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 実施事業 2 利用状況 3 今後の事業予定 4 予約の多い図書（上位 5 冊） 5 購入図書リスト <p>社会教育課長（体育施設）</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 利用状況 2 9月の主な行事予定 <p>について資料により説明する。</p> <p>《質疑》</p> <p>満木委員</p> <p>一般質問で、本田議員からスマホの弊害について質問が出たが、9月1日の朝日新聞でネット依存が5年前と比べて40万人増えており、中学校では倍増していると掲載されていた。幸手市でも様々な取組をしているが、常にルールに目にする機会を作ることが大切だと思うので、登下校のたびに児童・生徒の目に付くよう、スマホやゲーム、SNSがどういった影響を与えるかというポスターを小・中学校の入口に掲示していただきたい。</p> <p>次に、松田議員から出た全国学力・学習状況調査の質問だが、幸手市は県平均より良かったので、教職員のモチベーションに繋がるよう教育委員会として何かできないか。ま</p>
--	---

<p>日程第 6 その他 1 教育委員の異動 報告</p>	<p>た、結果が及ばなかった部分については、その原因が教えていただきたい。前回の定例会で、指導課長から説明いただいた資料がとても詳細に作られていたので、時間があるときに今の点も含めた説明をいただきたい。</p> <p>最後に、青木議員から出た英語学習の強化についての質問だが、英語学習については非常に懸念がある。文部科学省では、英語の教員の英検準 1 級の取得率を、中学校レベルで 50%、高校レベルで 75%を求めているが、2017 年度調査によると中学校の教員は 32%との結果が出ており、68%の教員が、英検準 1 級を取得できていない現状がある。また、高校 3 年生の時点で英検 2 級を持っている生徒が 36%との結果もある。英語教育については、取り組みの反省をせず常に対処療法でやってきた結果だと思う。英語教育の危機について書かれている鶴飼玖美子先生の本を是非、英語の教員に読んでいただきたい。また、英検の 1 級準 1 級を持っている英語の教員から、こういう点を直せば英語教育が変わるといふ具体的な指針を平成 32 年の手前までで教えていただきたい。</p> <p>教育長 要望として承る。ネット依存についても取り組まなければならない課題だと思う。</p> <p>指導課長 学力学習状況調査については、各学校で分析を現在進めている。来週、学力向上推進委員会を開催するので、そのときには資料として各学校から上がってくる。10 月の定例会の際には資料を配布できると思う。</p> <p>教育長 10 月の定例会で、分析結果を参考資料として示せるよう、準備を願いたい。</p> <p>教育長 中根職務代理者の任期満了に伴う退任及び着任予定の新任委員の報告をする。</p> <p>中根職務代理者 退任にあたりご挨拶をいただく。</p>
---	--

<p>2 次回定例会の 日程について</p>	<p>各委員の意見を調整した結果、10月の定例会については、次のとおり決定する。</p> <p>第10回教育委員会定例会 日時 平成30年10月9日（火） 午前9時30分～ 場所 幸手市立さくら小学校</p>
<p>3 次回の協議事項 について</p>	<p>満木委員 9月21日に開催する校務支援システムのデモンストレーションの簡単な内容と費用を教えてください。</p> <p>教育長 次回の協議事項については、学力学習状況調査のまとめと今後の取り組みをお知らせすると共に、今後、総合教育会議も予定されているので、前段階としてご意見をいただくこととしたい。</p>
<p>閉 会 午後0時04分</p>	<p>教育長 閉会を宣す。</p>

<p>ほか特に重要 と認める事項</p>	<p>な し</p>
	<p>上記会議の顛末を記載し相違ないことを証するため、ここに署名する。</p> <p style="text-align: right;">平成30年10月 9日</p> <p style="text-align: center;">教 育 長 山 西 実</p> <p>署名</p> <p style="text-align: center;">署 名 委 員 前 田 一 郎</p>